

ひめだ高宏ニュース

日本共産党
市議会

12月議会も5人が質問

No.888
11.11.30

12月定例市議会が始まりました。日本共産党は今議会も5人全員が質問します。(2)面のとおり。私がひめたの一般質問は、12月7日(水)2番目の予定。職員給与を引き下げる条例案が先議され、私はまだが質疑と反対討論を行いました。

安易な給与引き下げに反対

《反対討論の要旨》

本条例案は、人事委員会勧告に沿って公民較差を理由に職員の月例給与を〇・24%引き下げようとするもので支払い済みの差額分を返納させることも問題で

す。55歳以上の管理職給与の〇・5%カットも継続するとのことです。人事委員会勧告について、人事院勧告を理由に値切ることなど許されるものではなく早急にやめるべきです。

人事院勧告制度は、そもそも労働基本権の代償権闘としてできた制度ですが、実態は時の政府が公務員給与抑制の道具にしていたわけ。長い間、公務員給与は毎月給の代名詞でした。

民間大企業が成果主義奖金を導入し、政府と一緒に非正規雇用を増やしてきた結果、労働者全体の賃金が下がり公務員給与が高いと言われるようになりました。大幅賃上げこそが

日本経済好転のカギだといふ専門家の指摘もあります。公務員給与は年金や生活保障の基準ともなるため公民較差を理由に安易に引き下げるべきではなく、このよ

うな条例改定案には賛成できません。

こんなことは
日本共産党の

ふじい健太郎

です。
(その312)

その後、浜辺で和歌浦について語り合いました。

和歌川河口干潟を囲む

南ブロック後援会サークルのハイキングに参加しました。当日は雲ひとつ

ない、まさにハイキング

山辺赤人、松尾芭蕉の句碑が残され、中国の辛亥革命率いた孫文と南方

熊楠の出会いの地として

東照宮に天満宮と国重要文化財に指定された歴史的建造物もあり、悠久

の歴史を感じさせてくれる地もあります。大切

に美しく残していきたい

と思つた1日でした。

北に和歌山港、南に川男波から和歌浦湾と360度のパノラマは眺める

者を飽きさせません。

浪早ビーチに降りてキ

て豚汁と一緒にギリで昼食。



ふじい健太郎
前県会議員



11.11.30

無料ほんでも相談はお気軽に 080-1415-3951 ひめだまで (2)

12月定例市議会・一般質問事項

順	議員名	質問事項
1	丹羽直子 (市民クラブ)	・福祉保健行政について ・教育行政について
2	芝本和己 (市民クラブ)	・国際交流事業について ・本市の産業廃棄物処理の方針について
3	數 浩昭 (公明党)	・災害対策について
4	松坂みちる (日本共産党)	・医療・保健について ・マンパワーの確保について
5	山本 忠相 (民主クラブ)	・教育行政について
6	森下さち子 (日本共産党)	・教育行政について(中学校給食、学童保育)
7	奥山昭博 (公明党)	・教育行政について ・動物愛護管理について
8	渡辺忠広 (日本共産党)	・廃棄物施策のあり方について
9	島 幸一 (紳クラブ)	・災害対策について
10	古川祐典 (市民クラブ)	・スカイタクニツツじか丘について
11	園内浩樹 (公明党)	・防犯施策について ・国民健康保険事業について
12	南畠幸代 (日本共産党)	・産業廃棄物最終処分場建設について
13	戸田正人 (紳クラブ)	・市政運営について ・教育行政について
14	ひめだ高宏 (日本共産党)	・防災問題について・高齢者福祉について・鳥獣対策について
15	野嶋広子 (紳クラブ)	・農業の振興について・スカイタクニツツじか丘について・市政の諸問題

日本共産党 てすと くにしげ 秀明 (衆院1区・比例)

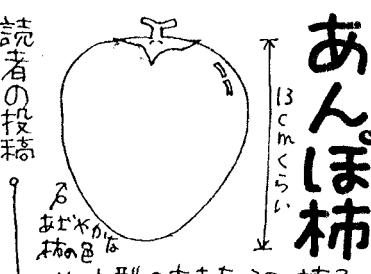
先日、高齢の女性が私に、食料品やら何やら高うてどこぼされました。ひとり暮らしの方ですが、ひどい暮らしの方ですが、食費で使えるお金は2万円あまりだと思います。

26日、読売テレビに出演した日本共産党の小池晃政

政府の「政策仕分け」は先月23日の会議で、年金引き下げを提言しました。物価が下がったのに年金を下げない時期があつたとして、今後3年間で2・5%、その後も下落分だけでなく、0・9%減らすという案が

策委員長は、「物価の算には医療や介護の保険計算に入っていない」と機械分けはゴメンです。しかし、生活を脅かす「仕分け」はゴメンです。

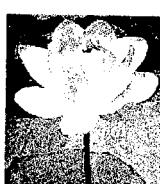
くにしげ 秀明 (衆院1区・比例)



ハート型の大きなシナ柿で皮をむいたあとイオウでくすべると柿の色が干しても黒くならないとか。甘くおいしい干柿。

故による放射能の関係で干し柿を作れないとか。畑や庭など町のいたるところにある葉っぱが落ちた柿の木に、あざやかな柿の実が採られずに泣いていました。

天上の蓮の池から見えれば地獄に喘ぐ我等見ゆかも布団を敷けばばつと明るむ



勝田 鉄也

伊達市には広瀬川というきれいな川があり、この川沿いに吹く北西の風が名物の「あんぽ柿」をつくるということでした。

あんぽ柿は、長さが15センチほどあるハート型の大きな柿で、干し柿として出荷していたそうです。皮をむいたものをイオウでくべると、干しても柿のままの色が変わらないと、宿泊した酒井さん宅で去年作って冷凍したものを見せてもらいました。しかし今年は、原発事故による放射能の関係で干し柿を作れないとか。畑や庭など町のいたるところに落ちた柿の木に、あざやかな柿の実が採られずに泣いていました。

伊達市見聞録 (2)